

使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
- 電波の弱い場所（山間部・鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- 器具の近くでは赤外線リモコンが動作しないことがよくまれにあります。
- 冬場など周囲温度が低い場合は、明るくなるまで時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。

ランプ交換について

△注意 ランプ交換の際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

ランプが黒化して明るさが低下したり、消灯が点滅をくり返すとランプの寿命です。器具に合った専用ランプ（ツインバルック蛍光灯・品番：FHD100、FHD40）をお求めください。



ランプ交換方法

- 1. グローブをまわしてはまず**
左へパチンと音がして止まるまで
●グローブは無理にはずさないでください。グローブの割れ、落下によるけがの原因となります。
①グローブをとまるまで左へまわす
- 2. ランプを交換する**
●取付け、取りはずしはランプ口側から行う
点灯時、消灯後20分以内はランプおよび本体が高温になっておりますのでご注意ください。
①はめる
②はずす
- 3. グローブを取付ける**
P.3「各部のなまえと取付け方の7. グローブを右にまわす」の項をご参照ください。
ソケットに確実に差し込む

お手入れについて

△注意 お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

器具（本体）のはずし方

- 1. 反射板をはずす**
●ラッチをまわしてはまず。
●内側のランプをはずした後
 - 2. プラグをはずす**
●プラグを左にまわす。
 - 3. 本体をはずす**
●レバーを矢印の方向に広げる。
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に一回程度）に清掃、点検してください。汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●グローブは石けん水にひたしたやわらかい布で汚れをふきとり、水で洗った後たたく絞ったやわらかい布で水分をふきとってください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変色、破損の原因となります。

■ 定格

カタログ番号	型番	周波数	使用電圧	消費電力 (リモコンOFF時 1.5W以下)	付属ランプ	質量
L-865B-W	01LD-02P1-BB-W	50/60Hz 共用	AC100V	120W	100形ツインバルック蛍光灯 FHD100 40Wツインバルック蛍光灯 FHD 40	4.8kg

yamagiwa

保管用

施工・取扱説明書

高調波ガイドライン
適合品

品番 FUM0-PRO : L-865 (B・W)

- お客様へ お買い上げありがとうございます。ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管してください。
- 工事店様へ この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

警告

- 禁止**
- こんな場所には取付けないでください。この器具は天井面取付専用です。指定場所以外に取付けると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。
突出部のある天井・凸凹のある天井
Φ840未満
平面部がΦ840未満の天井
補強のない薄い場所（ベニヤ板や石膏ボードなど）
55度を超える傾斜した場所
船底天井
ケースウェイに取付いているもの
 - こんな配線器具には取付けないでください。火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。
●配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。
7mm未満
19mm未満
フル引掛ローゼット
丸型フル引掛シーリング
配線器具の出シロが少ない天井
欠け
ヒビ割れ
破損しているもの
シーリングハンガー
シーリングハンガー付きのもの
ガタつくもの
斜めに取付けられた配線器具
- 必ず守る**
- 下記の配線器具に取付けてください。指定以外の配線器具に取付けると落下によるけがのおそれがあります。
丸型フル引掛シーリング
フル引掛ローゼット
 - 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。工事店、電器店、(別紙)ご相談センターにご相談ください。
- 分解禁止**
- 交流100ボルト以外では使用しないでください。過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
 - 器具を改造したり、部品交換をしないでください。火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

注意

- 禁止**
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。器具の真下にストーブなどを置かないでください。火災の原因になることがあります。
 - 他の調光器と組合せて使用しないでください。
調光機能付壁スイッチなどの調光器と組合せて使用しないでください。火災の原因になることがあります。
●調光器の取りはずしが必要です。調光器の取りはずしには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
- 接触禁止**
- 点灯中や消灯後20分以内はランプにさわらないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因になることがあります。
- 水ぬれ禁止**
- 浴室などの湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。この器具は非防水です。火災・感電の原因になることがあります。

各部のなまえと取付け方

△警告 器具の取付けは、説明書にしたがい確実に行ってください。
取付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

△注意 器具取付けの際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

1. 配線器具を確認する

天井の配線器具を確認してください。

△警告

■配線器具は十分な強度で取付けられていることを確認してください。

上下、左右にガタつく場合は、器具を取付けしないでください。落下によるけがのおそれがあります。付属または別売の配線器具に交換してください。配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。



必ず守る



本体止めネジをはずしてください。

●本体止めネジがついていると、器具の取付けができません。

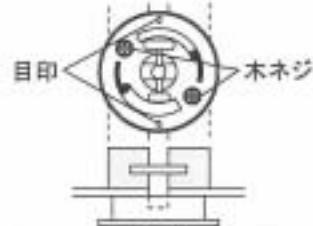


本体止めネジ

付属

△警告

目透かし天井に取付ける場合は、目透かし方向を目印に合わせて取付けてください。落下してけがのおそれがあります。



目印

木ネジ

配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。

別売

配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。

P.7「専用アダプタの使い方」をご参照ください。

△警告

■専用アダプタを使用せず直接配線器具に本体を取付けしないでください。落下してけがのおそれがあります。必ず専用アダプタを使用してください。



禁止

■専用アダプタを使用した場合傾斜天井には取付けしないでください。落下してけがのおそれがあります。

取付けできる配線器具



丸型フル引掛シーリング



フル引掛ローゼット

取替えの必要な配線器具



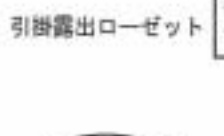
角型引掛シーリング



丸型引掛シーリング

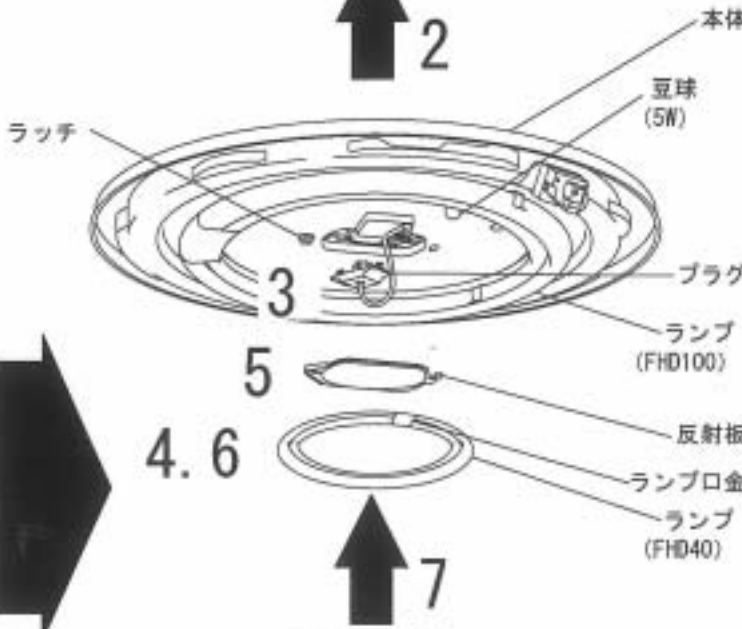


引掛埋込ローゼット

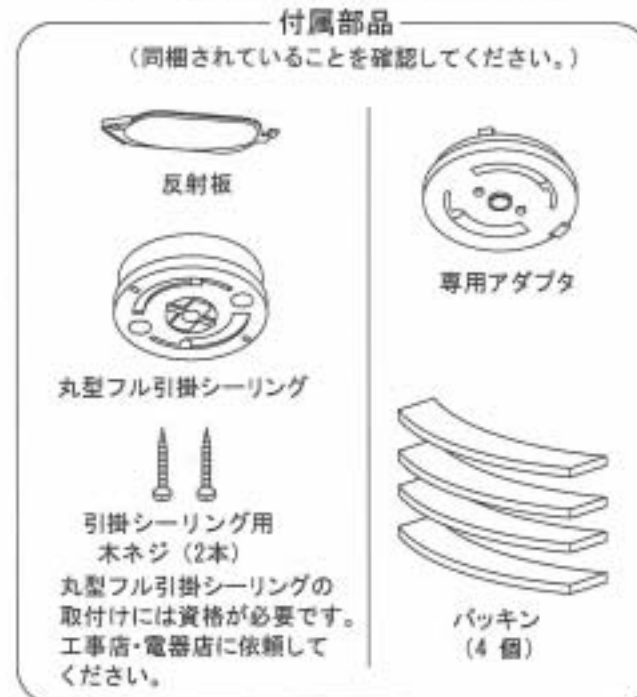


引掛露出ローゼット (ハンガーなし)

配線器具の取替えができない場合、付属の専用アダプタをご使用ください。



(グローブの形状は品番により異なります。)



2. 本体を押し上げて取付ける

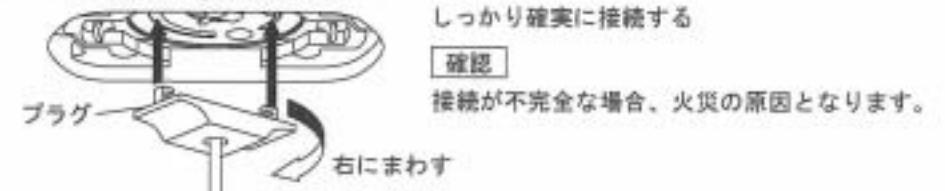
器具を配線器具に合わせて本体を押し上げて取付ける。取付けの際ランプを持たないでください。器具の方向を確認して、本体を押し上げてください。



赤色が見える場合は、本体の中央部をさらに押し上げる。

△警告 落下によるけがのおそれがあります。赤色が見えた状態で使用しない。

3. プラグを接続する



4. ランプ (FHD40) をはずす

●ランプの口金側からはずしてください。

5. 反射板を取付ける

●ラッチをまわす。

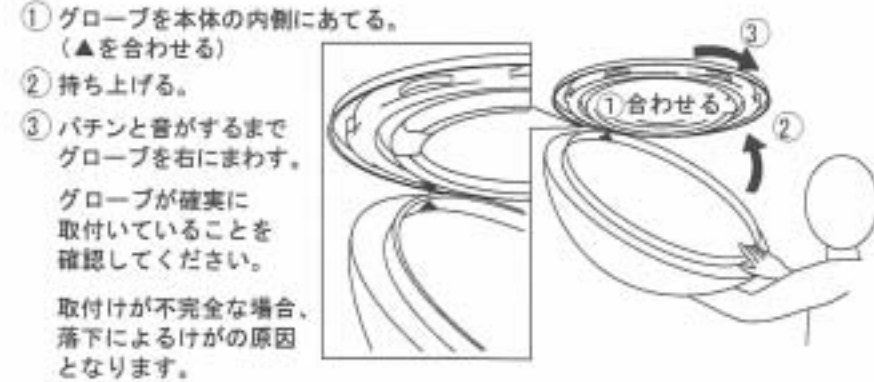


6. ランプ (FHD40) を取付ける

●ランプの口金側から取付けてください。



7. 本体の▲とグローブの▲を合わせてグローブを右にまわす



リモコンについて（リモコン送信器は別売です）

本商品のおすすめ送信器はZ-654W・HK9339です。

下記のリモコン(松下製)で操作できますが、点灯切替は4段階（全灯・段調光・豆球・滅）になります。



- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点滅操作できない場合には電池を交換してください。
- リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 室温が低いと（10℃以下程度）点灯直後、リモコンで切替えにくい場合があります。その際は、しばらくしてから切替えてください。

- リモコン送信器に付属されているリモコンボックスを使用する場合、壁掛け状態ではリモコン操作による切替ができないことがあります。

リモコンボックス

（紛失防止用として壁掛け収納できます。）



■壁掛け状態ではリモコン操作による切替ができない場合がありますので、リモコン送信器を照明器具に向けて操作してください。

こんなときには

故障と思われる前に下表に従って異常がないか点検してください。

現象	原因	対策
リモコンで操作できない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない。	チャンネル設定ボタンを押した後リモコン操作する。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する。
	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れる。
補助スイッチで操作できない	ランプ、豆球が切れている。	ランプを交換する。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにする。
壁スイッチで切替えできない	ランプが切れている。	ランプを交換する。
	ランプ、豆球が切れている。	ランプ、豆球を交換する。

左記の対策を行っても現象が続く場合

さらに現象が続く場合

①電源をいったん切り、再度入れる。

②器具内スイッチのリセットスイッチを押す。リセットスイッチを押した場合、チャンネル2（又はI-2）に戻ります。

ただちに電源を切り、工事店・電器店、別紙ご相談センターにご相談ください。

スイッチについて

必ず壁スイッチのある部屋又はリモコン送信器と組み合わせてご使用ください。

●壁スイッチで操作する場合

点灯状態にパラツキが発生する恐れがある為に1個の壁スイッチによる複数の器具の使用はできません。

点灯順序

●すばやく(約2秒以内) OFF→ON させると点灯状態が切替えられます。

●壁スイッチをOFFすると、どの点灯状態でも消灯します。
●壁スイッチ1個で2台以上の器具の使用はできません。
●壁スイッチはONのままリモコンで消灯させた場合、すばやく(約2秒以内) OFF→ON させると全灯させることができます。

壁スイッチで操作するには

●壁スイッチで2秒以上消灯すると、消灯直前の点灯状態を記憶しています。その後壁スイッチで点灯すると

- 消灯前が全灯の場合、全灯状態になります
- 消灯前が段調光の場合、段調光状態になります
- 消灯前が豆球の場合、豆球状態になります

OFF にすると消灯

※壁スイッチをONにしても点灯しない場合、すばやく(約2秒以内) OFF→ON させると全灯状態となります。

●リモコンで操作する場合

音入切設定スイッチ

リモコン操作時の音の入切。「ピッ音」で音入り、無音で音切になります。

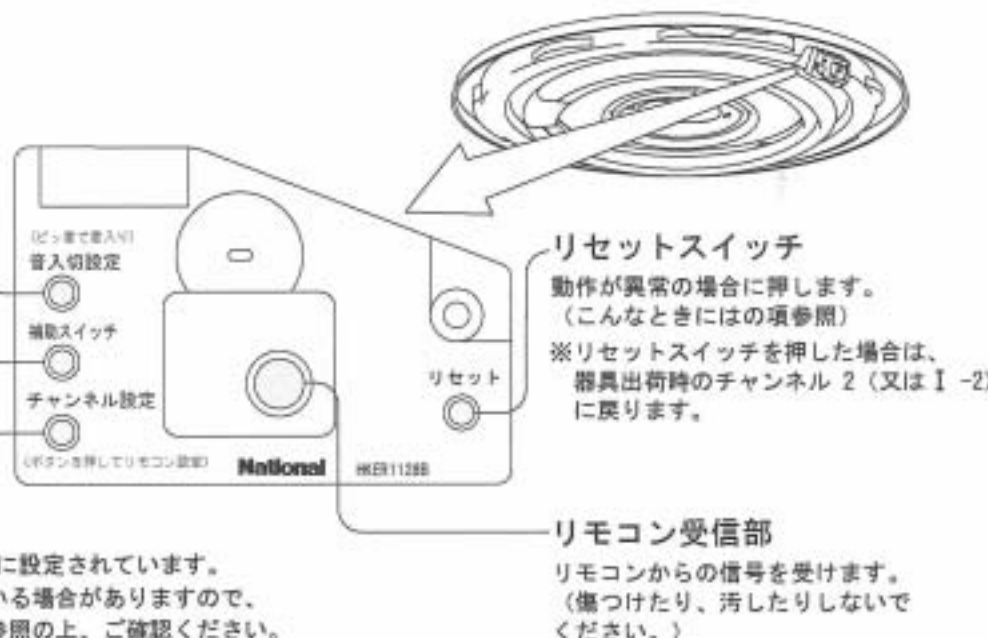
補助スイッチ

壁スイッチがなく、リモコンが使えない場合(リモコンの電池切れ、故障、紛失のとき)に器具の全灯→一減ができます。

チャンネル設定スイッチ

このボタンを押してから、リモコンを操作します。(チャンネル設定のしかたの項参照)

※出荷時のチャンネルは2(又はI-2)に設定されています。器具施工時にチャンネルが変更されている場合がありますので、下記の「チャンネル設定のしかた」を参照の上、ご確認ください。



チャンネル設定のしかた

チャンネル設定は、リモコン送信器を照明器具に向けて確実に行ってください。

器具のチャンネルを変えたい場合

1. 「チャンネル設定スイッチ」を押す

2. 送信器のチャンネルを希望のチャンネルに合わせる

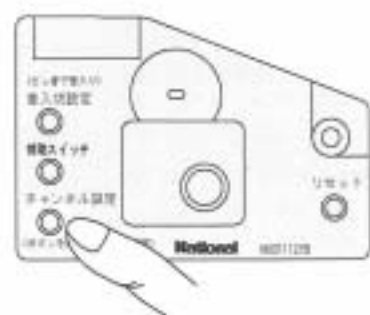
例) リモコン送信器が Z-654型・HK9339の場合



器具に向けて送信器の送信ボタンを押す

4. 「ピッピー音」がして設定完了します

例では、チャンネル1に設定されます。



●長時間使わない時には壁スイッチをOFFにしてください。(節電のため)
壁スイッチをONでリモコン消灯するとリモコン待機(1.5W以下)の電力を消費します。非常に短い停電が起こると点灯状態が切替わる場合があります。

専用アダプタの使い方

警告

禁止 専用アダプタを使用せず直接配線器具に本体を取付けしないでください。落下によるけがのおそれがあります。必ず専用アダプタを使用してください。

必ず守る 専用アダプタを使用した場合傾斜天井には取付けしないでください。落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る 配線器具は十分な強度で取付けられていることを確認してください。上下、左右にガタつく場合は、器具を取付けしないでください。落下によるけがのおそれがあります。付属または別売の配線器具に交換してください。配線器具の交換には資格が必要です。工事店、電器店に依頼してください。

1. 配線器具を確認する

天井の配線器具を確認してください。

専用アダプタ **必要** が必要です

専用アダプタ **不要** が必要です 付属のパッキンは不要です

2. 専用アダプタを取付ける

確認 取付け後、ボタンを押さずに左へまわしてはずれないことを確認する。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. パッキンを貼りつける

警告 器具のガタつきによる落下のおそれがあります。パッキンは必ず貼りつけてください。

パッキンは強く押しつけるように貼りつけてください。

付属のパッキン
照明器具に貼ってあるパッキンに合わせて付属のパッキンを貼り付けてください。

照明器具側パッキン
本体背面

4. 取扱説明書の「各部のなまえと取り付け方」の手順2以降の項目に従って器具を取付ける

2. 専用アダプタを取付ける

確認 取付け後、ボタンを押さずに左へまわしてはずれないことを確認する。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

3. 取扱説明書の「各部のなまえと取り付け方」の手順2以降の項目に従って器具を取付ける

ご注意

- 付属のパッキンを貼りつけて器具を取付けた後、本体を回転させないでください。パッキンがはがれることがあります。
- 使用しない部品は大切に保管してください。(引越などで配線器具が変わったとき必要となります。)